

## 統計検定の問題の使用に関する規約

「統計検定」は一般社団法人日本統計学会（以下、学会）が認定し、一般財団法人統計質保証推進協会（以下、協会）が実施しており、「統計検定」の名称は協会が商標を登録し、商標権が確立しています。また、統計検定の問題の著作権は協会に帰属しています。

問題の使用にあたっては、以下の規約に同意の上、「商標および著作物使用申請書兼誓約書」（以下、申請書）を提出し、協会の許諾を受けることが必要です。私的使用、教育的使用または営利使用で手続きが異なります。

本規約では、問題使用の申請を行う個人または団体を「申請者」、問題を使用する媒体の閲覧者および使用者を「閲覧者・使用者」、それ以外を「第三者」と呼びます。

なお、本規約は予告なく変更することがあります。

### 1. 申請書の提出が必要となる種別および問題

#### 1\_1. 種別

対象となる種別は以下のとおりです。

- |                |                          |
|----------------|--------------------------|
| (1) 統計検定       | (7) 統計検定 統計調査士           |
| (2) 統計検定 1 級   | (8) 統計検定 専門統計調査士         |
| (3) 統計検定 準 1 級 | (9) 統計検定 データサイエンス基礎      |
| (4) 統計検定 2 級   | (10) 統計検定 データサイエンス発展     |
| (5) 統計検定 3 級   | (11) 統計検定 データサイエンスエキスパート |
| (6) 統計検定 4 級   | (12) 統計検定 国際資格 (RSS/JSS) |

#### 1\_2. 問題

統計検定 PBT 方式試験および統計検定国際資格 (RSS/JSS) の問題、統計検定ウェブサイトに掲載されているサンプル問題、これらに付随する問題の解答が対象となります。

なお、統計検定 CBT 方式試験の問題は使用できません。

#### 【留意点】

「申請者」は、次の点を理解の上、申請を行ってください。（A）協会は、出題時の問題をそのまま提供します。（B）誤植等があった場合もそのままの状態を提供しています。また、（C）問題および使用された資料・データ等は、それぞれ、出題時の状況の下で作成、公表されたものです。

### 2. 問題使用の条件

#### 2\_1. 問題を使用する媒体

統計検定の問題の使用は、原則として、書籍等の印刷物や電子媒体に限定します。

- (1) 印刷物とは、一般書籍、雑誌、新聞、チラシ、カタログまたはパンフレット等の紙媒体を指します。
- (2) 電子媒体とは、CD-R/CD-RW、DVD-R/DVD-RW、BD-R/BD-RE、USB フラッシュメモリー、SD/SDHC カード等の記録媒体を指します。

なお、インターネット上での使用は、限られた条件の下で可能となります。詳細は「7. 例外的な使用（インターネット上での使用）」に記述しています。

## 2\_2. 許諾期間

問題の使用の許諾期間は、媒体と使用方法によって異なります。

## 2\_3. 遵守する事項

名称および問題の使用にあたっては、次の事項を遵守してください。

- (1) 「申請者」が、協会による主催、監修、認定等と誤認される、またはそのおそれのある表記をして、名称または問題を使用することを禁止します。
- (2) 「申請者」は、「閲覧者・使用者」が、協会の所有する商標権および著作権を認識し、侵害することがないように、名称または問題を使用してください。下記の文言は、媒体のいずれかの箇所に明記すべき内容例です。

---

統計検定<sup>®</sup>は一般財団法人統計質保証推進協会の登録商標です。

統計検定<sup>®</sup>の問題の著作権は一般財団法人統計質保証推進協会に帰属しています。無断で複製、改変、公開および配布することを禁止します。

---

- (3) 「申請者」が、統計検定の名称を使用する際は、名称の右肩部分に登録商標マークを付してください。登録商標マークが文字化けする場合は、「(R)」でも可能です。

- |                           |                                       |
|---------------------------|---------------------------------------|
| (1) 統計検定 <sup>®</sup>     | (7) 統計検定 <sup>®</sup> 統計調査士           |
| (2) 統計検定 <sup>®</sup> 1級  | (8) 統計検定 <sup>®</sup> 専門統計調査士         |
| (3) 統計検定 <sup>®</sup> 準1級 | (9) 統計検定 <sup>®</sup> データサイエンス基礎      |
| (4) 統計検定 <sup>®</sup> 2級  | (10) 統計検定 <sup>®</sup> データサイエンス発展     |
| (5) 統計検定 <sup>®</sup> 3級  | (11) 統計検定 <sup>®</sup> データサイエンスエキスパート |
| (6) 統計検定 <sup>®</sup> 4級  | (12) 統計検定 <sup>®</sup> 国際資格 (RSS/JSS) |

- (4) 「申請者」は、媒体のいずれかの箇所に、使用する問題の出典を明記してください。下記は記載方法の例です。

---

2019年11月実施 統計検定<sup>®</sup>2級問2より

---

- (5) 「申請者」は、問題の使用状況が確認できる印刷物またはデータを、媒体の発行または掲載前に協会に提出してください。
- (6) 「申請者」は、「第三者」による媒体の閲覧、使用、複製、改変、公開および配布を防ぐため、どのような措置を講じているのかが分かる資料を、申請書に添付してください。

- (7) 「申請者」は、商標法および著作権法の法令に従って名称および問題を使用してください。
- (8) 「申請者」が、統計検定の名称に文字や図形その他の表示を結合することを禁止します。
- (9) 「申請者」が、統計検定の問題を変更することを禁止します。
- (10) 「申請者」が、学会および協会に関わる者ならびに協会の商標と著作物に関わる者の名誉や品位を損ねるかたちで、名称および問題を使用することを禁止します。
- (11) 「申請者」が、許諾期間外に問題を使用することを禁止します。
- (12) 「申請者」が、問題を「第三者」に公開および配布することを禁止します。
- (13) 「申請者」が、問題使用の許諾を「第三者」に譲渡することを禁止します。
- (14) 問題に使用されているデータおよび画像等のうち、協会が著作権を保有していないものについては、「申請者」が別途、著作権者の承諾を得てください。

#### 2\_4. 問題の使用の許諾の取消

次の項目のいずれかに該当する場合、問題の使用の許諾を取り消すことがあります。

- (1) 「申請者」が、本規約に違反したとき
- (2) 「申請者」が、不正な手段により問題の使用の許諾を受けたとき
- (3) その他、協会によって問題の使用の継続が不相当であると判断されたとき

### 3. 私的使用、教育的使用または営利使用の区分

#### 3\_1. 私的使用

私的使用とは、「個人的」または「家庭内その他これに準ずる限られた範囲」で使用することを指します。私的使用において、申請書の提出は不要です。私的使用を目的として問題を使用する場合は、著作権法の法令に従ってください。

また、原則として、私的使用を目的とした問題の使用に対して、問題データの配布は行っておりません。統計検定の問題が掲載された協会の著作物を購入してください。

#### 3\_2. 教育的使用

学校その他の教育機関（営利を目的として設置されているものを除く）において教育を担当する者が教育目的で問題を使用する場合は、教育的使用となります。教育的使用を目的として問題を使用する場合は、著作権法の法令に従ってください。インターネット上での使用は、「7. 例外的な使用（インターネット上での使用）」を遵守してください。

教育的使用では、「商標および著作物使用申請書兼誓約書」が承認されれば、本規約の範囲内で無償で問題を使用できます。ただし、協会から問題データを送信する場合は、「5. 教育的使用における手続き」で定める手数料が別途かかります。

#### 3\_3. 営利使用

営利使用の場合は申請書の提出が必要となります。問題使用の条件については個別に判断します。

営利使用の場合は、「4. 使用料」に定める使用料が発生します。

※法人内の研修等で問題を使用する場合は、原則として営利使用となります。

#### 4. 使用料

##### 4\_1. 一式使用

統計検定準1級、2級、3級、4級、統計調査士、専門統計調査士、2014年までの統計検定1級は、試験回ごとに一式150,000円(税込)とします。

統計検定1級「統計応用」と「統計数理」は、試験回ごとにそれぞれ一式125,000円(税込)と25,000円(税込)とします。統計検定1級「統計応用」の一式には、全ての応用分野(人文科学、社会科学、理工学、医薬生物学)が含まれます。

全て、問題データの作成および送信にかかる手数料を含む金額です。

例) 2019年6月の統計検定2級一式と2019年11月の統計検定2級一式を使用する場合、150,000円×2試験回となり、300,000円がかかります。

##### 4\_2. 個別使用

統計検定1級「統計数理」と1級「統計応用」、2014年までの統計検定1級、統計検定準1級、2級、3級、4級、統計調査士、専門統計調査士は、1問10,000円(税込)とします。ここでの1問は小問(解答番号1つ)ではなく、大問を指します。

全て、問題データの作成および送信にかかる手数料を含む金額です。

例) 小問3問で構成された大問1問を使用する場合、10,000円×1問となり、10,000円(税込)がかかります。

検定種別	使用料(税込)	
	一式使用	個別使用
2014年までの統計検定1級	150,000円	10,000円
統計検定1級「統計応用」	125,000円	10,000円
統計検定1級「統計数理」	25,000円	10,000円
統計検定準1級	150,000円	10,000円
統計検定2級	150,000円	10,000円
統計検定3級	150,000円	10,000円
統計検定4級	150,000円	10,000円
統計検定 統計調査士	150,000円	10,000円
統計検定 専門統計調査士	150,000円	10,000円
統計検定 専門統計調査士	150,000円	10,000円

##### 4\_3. 手続き

「申請者」が提出した申請書類が承認された後、協会から許諾と使用料の支払情報を送ります。協会が入金を確認した後、問題データを提供します。

問題データは記録媒体に記録して提供します。記録媒体および問題データは、「申請者」のみが使用できます。記録媒体の複製は禁止します。他、「2\_3. 遵守する事項」に従い、問題データの管理を行ってください。

#### 4\_4. 講座やセミナーの教材に問題を掲載する場合

- (1) 講座やセミナーの教材である印刷物に問題を掲載する場合、印刷物ごとに使用料が発生します。複数の異なる講座やセミナーで同一の印刷物を使用しても、新たな使用料は発生しません。原則として、印刷物の内容に変更がなければ、使用料は発生しません。内容の変更が少ない場合も、使用料は発生しません。同じ問題を内容が異なる印刷物に掲載する場合は、片方の印刷物の使用料は、規定の3分の1になります。端数がでる場合は、1,000未満を切り捨てます。

例) 2019年11月の統計検定2級1問が掲載されている印刷物Aを、2021年と2022年に開講する講座で教材として使用した場合、印刷物Aに対する使用料10,000円(税込)のみかかります。

例) 2019年11月の統計検定2級1問を、内容が異なる印刷物Aと印刷物Bに掲載する場合、使用料は  $10,000 + (10,000 \div 3) = 13,333.33 \approx 13,000$  円(税込)となります。
- (2) 問題が掲載された教材を印刷物と電子媒体で作成する場合、片方の媒体の使用料は、規定の3分の1になります。端数がでる場合は、1,000未満を切り捨てます。

例) 2019年6月の統計検定2級1問が掲載されている教材Aを、印刷物と電子媒体で作成する場合、使用料は  $10,000 + (10,000 \div 3) = 13,333.33 \approx 13,000$  円(税込)となります。

#### 4\_5. 出版物に問題を掲載する場合

- (1) 出版物に問題を掲載する場合、刊行する出版物ごとに使用料が発生します。増刷の場合は使用料は発生しませんが、改版する場合は規定の3分の1の使用料がかかります。端数がでる場合は、1,000未満を切り捨てます。

例) 2019年11月の統計検定2級1問が掲載されている出版物の版を変える場合、使用料は  $10,000 \div 3 = 3,333.33 \approx 3,000$  円(税込)となります。
- (2) 電子書籍で出版を行う場合の条件は、「7\_4. 営利使用(電子書籍での使用)」を参照してください。
- (3) 問題が掲載された出版物を複数の出版方法で刊行する場合、片方の出版物の使用料は、規定の3分の1になります。端数がでる場合は、1,000未満を切り捨てます。

例) 2019年6月の統計検定2級1問が掲載されている出版物Aを、紙書籍とPOD(プリントオンデマンド)書籍と電子書籍で使用する場合、使用料は  $10,000 + (10,000 \div 3) + (10,000 \div 3) = 16,666.66 \approx 16,000$  円(税込)となります。

#### 4\_6. 講座やセミナーでテキストや問題集を使用する場合

講座やセミナーで、問題が掲載されている協会の著作物を使用する場合は、次の事項を遵守してください。

- (1) 協会の著作物は、個々の学習者が購入することを想定して販売されています。購入の代替とみなすことができる行為(複写や複製)を禁止します。
- (2) 購入の代替とみなすことができる行為を防ぐため、受講者全員が講座やセミナーで使用する協会の著作物を購入して下さい。
- (3) 講座やセミナーで使用する協会の著作物を、インターネット上で使用する場合は、「7. 例外的な使用(インターネット上での使用)」を遵守してください。

- (4) 講座やセミナーにおいて、「統計検定」の名称を使用する場合は、「商標使用申請書兼誓約書」を提出してください。

#### 4.7. 販売終了している書籍に掲載されている問題について

統計検定の問題が掲載された協会の著作物の販売が終了しているために、講座やセミナーで、統計検定の問題の使用料を支払って印刷物や電子媒体等の教材を作成する必要がある場合、問題使用料金は規定の2分の1となります。端数ができる場合は、1,000未満を切り捨てます。

例) 販売終了した『日本統計学会公式認定 統計検定統計調査士・専門統計調査士 公式問題集 [2011～2013年]』の購入の代わりに2013年11月の統計検定 統計調査士を使用した媒体を作成する場合、 $150,000 \div 2 = 75,000$ 円(税込)の使用料となります。

#### 4.8. その他

統計検定 国際資格 (RSS/JSS) およびサンプル問題の使用については、別途ご相談ください。

### 5. 教育的使用における手続き

教育的使用の場合は、提出された「商標および著作物使用申請書兼誓約書」が承認されれば、無償で問題を使用できます。ただし、協会から問題データを送信する場合は、別途手数料がかかります。

問題データは記録媒体に記録して提供します。記録媒体および問題データは、「申請者」のみが使用できます。記録媒体の複製は禁止します。他、「2\_3. 遵守する事項」に従い、問題データの管理を行ってください。

### 6. その他

統計教育連携ネットワーク (JINSE) に所属している会員に対し、統計検定 PBT 方式試験の全ての種別の問題をデータで提供しています。試験回や問題数にかかわらず、1回の問題データ提供にあたり、作成手数料として5,000円(税込)がかかります。

詳しくは、「統計教育連携ネットワーク (JINSE)」ウェブサイト (<https://qajss.org/jinse/>) をご覧ください。

### 7. 例外的な使用 (インターネット上での使用)

#### 7.1. 私的使用

不特定多数がアクセス可能なインターネット環境において、統計検定の問題を使用することは許可していません。

#### 7.2. 教育的使用

不特定多数がアクセス可能なインターネット環境において、統計検定の問題を使用することは許可していません。インターネット上で統計検定の問題を使用する場合は、以下に記す条件を満たす必要があります。

- ・アクセス制限を設けている LAN やイントラネット、ラーニングシステム等の限定された環境内で統計検定の問題を使用してください。
- ・統計検定の問題へアクセスする方法は、「閲覧者・使用者」のみに公開してください。

例) 統計検定の問題を使用したオンライン講座の URL は「閲覧者・使用者」のみに知らせ、入室は許可制とする。

- ・「閲覧者・使用者」には、画面の録画やスクリーンショット撮影を禁止してください。
- ・「閲覧者・使用者」が、統計検定の問題の複製および配布を行えないよう措置を講じ、その内容を申請書に記述してください。

例) 統計検定の問題を使用したオンライン講座配信の受講者には、画面を複製および配布しないことを誓約させる。

- ・インターネット上での統計検定の問題の使用が、個々の学習者が購入することを想定して販売されている協会の著作物の購入の代替とみなすことができる場合、その使用を禁止します。（協会の著作物を「閲覧者・使用者」が購入していれば、この限りではない。）
- ・「申請者」は、「閲覧者・使用者」が、協会の商標権および著作権を侵害することがないように、注意を喚起してください。下記は注意書きに記載する内容です。

---

統計検定<sup>®</sup>は一般財団法人統計質保証推進協会の登録商標です。

統計検定<sup>®</sup>の問題の著作権は一般財団法人統計質保証推進協会に帰属しています。無断で複製、改変、公開および配布することを禁止します。

---

- ・「申請者」は、「第三者」による媒体の閲覧、使用、複製、改変、公開および配布を防ぐための措置を講じ、その内容を申請書に記述してください。

### 7\_3. 営利使用（講座やセミナーでの使用）

不特定多数がアクセス可能なインターネット環境において、統計検定の問題を使用することは許可していません。インターネット上で統計検定の問題を使用する場合は、以下に記す条件を満たす必要があります。

- ・アクセス制限を設けている LAN やイントラネット、ラーニングシステム等の限定された環境内で統計検定の問題を使用してください。
- ・統計検定の問題へアクセスする方法は、「閲覧者・使用者」のみに公開してください。

例) 統計検定の問題を使用したオンライン講座の URL は「閲覧者・使用者」のみに知らせ、入室は許可制とする。

- ・「閲覧者・使用者」には、画面の録画やスクリーンショット撮影を禁止してください。
- ・「閲覧者・使用者」が、統計検定の問題の複製および配布を行えないよう措置を講じ、その内容を申請書に記述してください。

例) 統計検定の問題を使用したオンライン講座配信の受講者には、画面を複製および配布しないことを誓約させる。

- ・インターネット上での統計検定の問題の使用が、個々の学習者が購入することを想定して販売されている協会の著作物の購入の代替とみなすことができる場合、その使用を禁止します。（協会の著作物を「閲覧者・使用者」が購入していれば、この限りではない。）
- ・「申請者」は、「閲覧者・使用者」が、協会の商標権および著作権を侵害することがないように、注意を喚起してください。下記は注意書きに記載する内容です。

---

統計検定<sup>®</sup>は一般財団法人統計質保証推進協会の登録商標です。

統計検定<sup>®</sup>の問題の著作権は一般財団法人統計質保証推進協会に帰属しています。無断で複製、改変、公開および配布することを禁止します。

---

- ・「申請者」は、「第三者」による媒体の閲覧、使用、複製、改変、公開および配布を防ぐための措置を講じ、その内容を申請書に記述してください。

#### 7\_4. 営利使用（電子書籍での使用）

電子書籍内で統計検定の問題を使用する場合は、以下に記す条件を満たす必要があります。

- ・統計検定の問題が掲載されている電子書籍の広告媒体（インターネット上のウェブページ）には、統計検定の問題を掲載しないでください。
- ・統計検定の問題が掲載されている電子書籍の購入者のみが、電子書籍へアクセスできるように措置を講じ、その内容を申請書に記述してください。
- ・統計検定の問題が掲載されている電子書籍の購入者のみが、電子書籍を閲覧できるように措置を講じ、その内容を申請書に記述してください。
- ・統計検定の問題が掲載されている電子書籍の購入者が、統計検定の問題の複製および配布を行えないよう措置を講じ、その内容を申請書に記述してください。
- ・「申請者」は、統計検定の問題が掲載されている電子書籍の購入者が、協会の商標権および著作権を侵害することがないように、注意を喚起してください。
- ・「申請者」は、統計検定の問題が掲載されている電子書籍の購入者以外の「第三者」による媒体の閲覧、使用、複製、改変、公開および配布を防ぐための措置を講じ、その内容を申請書に記述してください。

#### 8. 権利の侵害

「統計検定」の商標権および統計検定の問題の著作権の侵害またはそのおそれに対し、協会は行為の停止および行為を組成した媒体の廃棄、行為に供した設備の除却を求めることがあります。商標権および著作権の侵害、または、そのおそれによって協会が損害を受けた場合、故意または過失を問わず、損害賠償請求またはその他必要な対抗措置をとることがあります。

以上